

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

川崎市立南河原小学校（神奈川県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 一人一人の子どもが主語の学びへ

<考察>

一人一人の子どもが主語の学びをつくるため、次の指導のような工夫や改善を行うあたり、GIGA端末が有効にはたらい。

① 個を起点として授業をつくることができるように

- ・具体的に3人くらいについてそれぞれの前時の思考、声掛けを中心とした教師の役割と最後のふりかえりの記述のイメージを具体的にイメージして授業をつくる。
- ・一人一人の子どもがスプレッドシートに入力するめあてとふりかえりを見取りながら支援をする。

② 子どもが決める場面をつくり、端末で可視化し、支援できるように

- ・いつ、だれと、どうやって学ぶのかを子どもが決められるよう、子どもも教師も学習状況をクラウドで即時的に見とれる環境づくりをし、学びを支え、かわりを促すなどして支援する。

③ 子どもがつけたい力を意識し、見方・考え方が働かせて学べるように

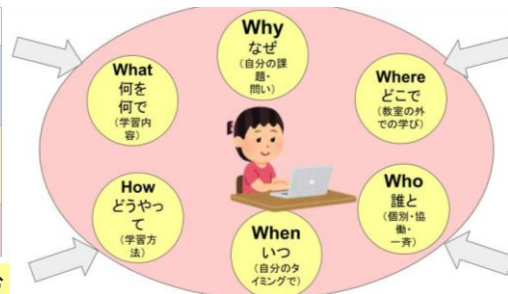
- ・見方・考え方には教科特有のものもあるが、汎用的なものもある。児童が意識できるよう掲示したり、声掛けをしたりして支援する。

①

	子どもの思考	教師の役割	まとめ・ふりかえり
S	学校や地域、家族のそれぞれに感謝を伝える方法を関連付けながら多角的に考えたい。	それぞれの立場の願いと自分たちの思いをつなげて考えられるように促す。 具体的な内容や方法について問い返す。	掃除や伝統を引き継ぐこと、成長を見せる場などがあるとわかった。分担して掃除をしたり、合奏を見てもらったりできそうだな。
A	家族のためにできることについて友達と共有し、比較、分類したい。	同じめあてを立てている人との共有を促して共通点や相違点を見つけ、取り組む内容を広げたり深めたりできるようにする。	成長した姿を見たいという意見や家の手伝いをしてほしいという意見が多いとわかったから、取り組んでいきたいな。
B	学校のために何かできないか考えたい。	共通の取材相手や他の先生に取材した人、同じめあてを立てている人に共有するよう促す。	学校のために清掃することができそう。

子どもの思考・教師の役割・最後にもつ考えを具体的にイメージして授業に挑む

②



個を起点に授業をつくる。

- 見方・考え方を働かせ、学びたい課題や問い

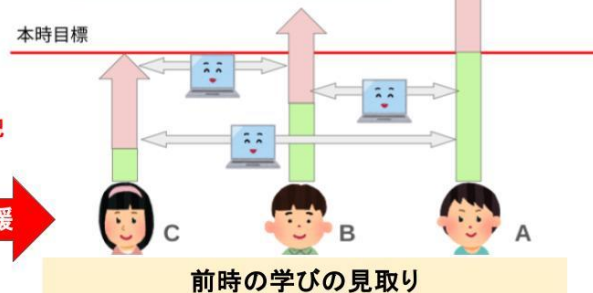
- 教材研究
前に学習した内容は？
次に学習する内容は？

- 子どもも教師も学習状況を即時的に見取れる環境づくり



支援

一人一人が伸びる授業



③



教師は端末を持ちながら声掛け

教師の声掛けのポイントの例

- ・つけたい力を再確認する
- ・友達とつなげて考えを広げるよう促す
- ・見方・考え方を意識させる
- ・アウトプットさせ考えをまとめられるようにする